

講義科目名称： 小児看護学演習

授業コード： 2230200700

英文科目名称： Practice in Child and Family Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員			
◎山田恵子、◎大久保明子、野澤祥子、小林宏至			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 前期</p> <p>【授業時間】 15時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】 ◎山田 恵子 ◎大久保 明子 野澤 祥子 小林 宏至 実務経験のある教員が担当します。</p> <p>【研究室】 215 207 共同研究室1 共同研究室1</p> <p>【メールアドレス】</p> <p>【大学の科目区分】 専門科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程</p> <p>【DP1】 ○ 【DP2】 ◎ 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】</p>
------	--

到達目標	<p>1. 健康問題をもつ子どもとその家族に必要な看護援助の基本および根拠を説明できる。</p> <p>2. 事例を通じて機能的健康パターンを基盤とした看護過程の展開が実践できる。</p> <p>3. 子どもの発達段階を考慮しモデル人形を用いて安全・安楽な小児看護技術を実践できる。</p>
------	---

授業概要	<p>本科目では、個人ワークやグループワークを通して健康問題をもつ子どもと家族に必要な看護援助を考え実践できる能力を修得する。</p>
------	---

授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：演習オリエンテーション 学習内容：目的・目標、具体的方法、自己課題、グループ課題について 備考：看護過程（事例紹介）</p> <p>2 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：子どもの検査・処置に関する看護技術 学習内容：静脈内持続点滴 備考：</p> <p>3 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：子どもの清潔ケアに関する看護技術 学習内容：乳幼児の清拭・陰部洗浄 備考：</p> <p>4 授業内容 授業形態：演習 学習課題：検査・治療を受ける子どもの看護技術 学習内容：酸素療法・吸入療法・経管栄養・気管切開部の取り扱い 備考：ユニフォーム着用</p> <p>5 授業内容 授業形態：演習 学習課題：子どもの清潔ケアに関する看護技術 学習内容：乳幼児の清拭・陰部洗浄 備考：ユニフォーム着用</p> <p>6 授業内容 授業形態：演習 学習課題：子どもの観察技術 学習内容：状況設定に対する観察項目の確認と実施方法の検討 乳幼児のバイタルサインの測定、一般状態・胸部・腹部の観察、点滴療法中の観察 備考：ユニフォーム着用</p> <p>7-8 授業内容 授業形態：グループワーク（発表） 学習課題：事例の看護問題に沿った小児看護技術の実践 学習内容：事例に沿った指導案および必要な看護実践におけるロールプレイ</p>
------	--

	備考：実践およびPPTを用いた発表
事前・事後学習	事前学習：小児看護学Ⅰ・Ⅱの復習 既習学習の復習（形態機能学、臨床栄養学、臨床病態学、臨床薬理学、臨床生化学） 事後学習：看護過程の展開および小児看護技術のセルフトレーニング （セルフトレーニングする場合は、担当教員に申し出ること）
評価方法、評価基準	個人レポート（50%）、グループワークレポート（40%）、学習態度（10%） 2/3以上（6コマ以上）の出席がない場合は、成績評価の対象としない。
必携図書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学〔1〕〔2〕 医学書院
参考図書・資料等	資料：ハンドアウトの資料を配布 参考書：荃津智子編著：発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程第2版，医歯薬出版，2021. リンダ J. カルペニート著、監訳 黒江ゆり子：看護診断ハンドブック第12版，医学書院，2023. 市江和子編著：病期・発達段階の視点でみる小児看護過程，照林社，2021. 山元恵子監修：「写真でわかる小児看護技術 アドバンス」，インターメディカ，2021. 渡邊朋他著：看護の現場ですぐに役立つ小児看護のキホン，秀和システム，2020. 参考DVD：臨床で役立つ小児看護技術：「子どものバイタルサインズ」，京都科学，2007. 臨床で役立つ小児看護技術：「子どもの身体計測」，京都科学，2007.
受講、課題、資料配布等のルール	「小児看護学Ⅰ」および「小児看護学Ⅱ」の単位を取得している者とする。 30分以上遅刻した場合は欠席とする。
教員からのメッセージ	子どもの好き嫌いに関わらず、健康問題を抱えた子どもが目の前にいたら、どのように関わりたいと思いますか？ 子どもとの関わりをイメージしながら、子どもの頑張りを引き出せる看護を一緒に考えていきましょう。
オフィスアワー	